

# 吉川小学校大規模改造、石綿管更新なども 上越市の追加経済対策事業は総額40億7595万円

22日、23日と臨時市議会が開催され、上越市の追加経済対策事業が盛り込まれた平成21年度一般会計補正予算、ガス・水道事業会計補正予算などが全会一致で可決されました。

上越市が今回上程した一般会計と特別会計の追加経済対策補正予算は44億1071万円ですが、会計歳入歳出でダブっているものを差し引くと40億7595万円となります。

今回の補正予算編成にあたって市は、①金融対策・雇用対策、②市民生活に直結し、中小・零細企業にも配慮した即効性、広がりのある事業、③21世紀型の産業インフラ整備、④「安全・安心」の確保、の4つを重点テーマとして設定しました。財源としては、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金、地域活性化・公共投資臨時交付金、県の緊急雇用創出事業臨時交付金補助金などを活用しながら編成しています。



特徴的なことのひとつは公共施設の修繕に総額の36%に及ぶ14億9240万円を計上したこと。また、学校や市民が利用する施設などでの地上デジタル放送対応のテレビ

(530台)購入費6309万円も計上されました。これらは一時も早く仕事をと要望していた中小企業への配慮です。

特徴の二つ目は、中長期的な成長力を高める観点からも予算化されたことです。農業振興費や産業振興センター(仮称)の開設準備経費670万円などが盛り込まれました。

注目された雇用対策。上越ハローワーク管内の有効求人倍率が0.4(本年5月)と史上最レベルとなつているなかで、雇用対策として今回、7599万円が計上されました。新潟県ふるさと雇用再生特別基金事業などを活用して延べ99人の雇用を創出しますが、これでは少なすぎるのではないかとこの声が上がっています。

## 吉川区内の主な補正予算

今回の補正予算で吉川区に関する主なものをお知らせします。

### ◎吉川小学校大規模改造工事 8294万円

厨房改修、暖房改修が中心となります。学校給食を休むことができないため、工事は学校が休みの時に行われます。現在進められている工事(写真)は外壁の塗装工事で9月末までの工期となつています。今回の補正予算とは別です。

### ◎石綿セメント管更新 約5400万円

水道管網の耐震化を進める目的で地震に弱い石綿セメント管更新を代石地内2か所、山方地内(木の実谷線)2か所で行うものです。

### ◎農地有効利用支援整備事業補助金

用水施設修繕、ため池修繕など。事業主体は



【炬火採火式】トキめき新潟国体が間近となりました。写真は18日の炬火採火式(リージョンプラザ)の様です。大型マイグりで火をおこし、この後、大会旗とともに文化会館までルー走者の手で運ばれました。走者の中には梶の片桐悠人さんの姿もありました。

吉川土地改良区と山中町内会。土地改良区分の補助金額は1117万円。町内会分は公表されていません。

### ◎交通安全施設費 18万円

町田く六万部間の街灯新設工事2灯  
梶地内でカーブミラー新設1基

◎その他、吉川コミュニティープラザ、遊ランドなどの施設の地上デジタル対応テレビ購入費が計上されています。

## シリーズ 上越市内の橋

### 第3回 荒川橋



一級河川荒川のもっとも海に近いところにかかった橋です。関川は稲田橋あたりから下流になると、荒川とも呼ばれます。橋の名前は、この荒川からきています。

この橋の魅力の一つは素敵なデザイン。橋の上に塔が立つ風景は直江津港のシンボルマークにもなっています。橋の長さは約235メートル。竣工は1994年3月。